

平成27年度 長崎県立対馬高等学校「学校評価」アンケート(生徒全体集計:12月)

・増減は昨年同時期との比較です。

増減の欄には5%以上の増減があった項目に対して記入しています。(回答数480名 90%＝約452名)

No	具 体 的 評 価 内 容	4・3の評価 4:よくあてはまる 3:ややあてはまる			
《教育活動全般について》		今年度 (12月)	本年度 (7月)	昨年度 (12月)	増減
1	教育方針や育てたい生徒像をはっきり示している。	91%	87%	87%	
2	学年や学級の目標を示し、目標達成のため親身な指導をしてくれる。	90%	90%	90%	
3	学習と部活動の両立について支援している。	84%	86%	82%	
4	生徒の心身の健康状態の把握に務め、健康面の管理にも配慮している。	83%	82%	80%	
5	悩みなどに親身になって相談にのってくれる。	83%	78%	79%	
《学習・進路指導について》					
6	わかりやすい授業をしてくれる。	89%	90%	89%	
7	基礎学力の定着や資格検定などのために熱心に取り組んでくれる。	92%	92%	90%	
8	一人ひとりの生徒の学習状況などを把握し、進路実現のためにアドバイスをしてくれる。	85%	83%	80%	△5
9	進路(進学・就職)に関する情報を適切に提供してくれる。	89%	86%	84%	△5
《教育環境について》					
10	学校の施設・設備は、充実していて満足できる。	76%	82%	77%	
11	防災・危険防止等、安全面の配慮がなされている。	89%	89%	88%	
《生徒活動について》					
12	「対高生」としての誇りを持っている。	89%	91%	90%	
13	毎日、楽しく学校生活を送っている。	88%	89%	87%	
14	遠足や校内球技大会・体育大会・文化祭などの学校行事が楽しみである。	89%	86%	87%	
15	まじめに掃除に取り組んでいる。	93%	93%	91%	
16	ボランティア活動を理解し、地域社会への貢献を考えている。	82%	82%	73%	△9
17	学校・家庭・寮生活において、節電や節水など省エネに努めている。	77%	75%	72%	△5
《道徳意識について》					
18	挨拶や言葉遣いなど礼儀の大切さを知り、真心と思いやりの心を持って他人に接している。	94%	93%	93%	
19	約束や決まりを守り、社会におけるマナーやモラルなどの社会規範を大切にしている。	96%	93%	94%	
20	いじめや差別など偏見のない正しい人権感覚を持っている。	95%	94%	95%	
〇1年のみ回答					
21	将来の夢や職業、志望大学など進路目標を持っている。	74%	72%	80%	▼6
22	「月間予定表」と「週目標」を意識しながら、学校生活を送っている。	57%	51%	61%	
23	1日3時間以上の家庭学習を行っている。	29%	38%	38%	▼9
〇2年のみ回答					
21	就職・公務員、専門学校、大学の学部・学科など具体的な進路目標を持っている。	80%	74%	90%	▼10
22	「月間予定表」と「週目標」を意識しながら、学校生活を送っている。	69%	72%	50%	△19
23	1日3時間以上の家庭学習を行っている。	60%	44%	65%	▼5
〇3年のみ回答					
21	就職・公務員、専門学校、大学の学部・学科など具体的な進路目標を決めている。	97%	92%	96%	
22	「月間予定表」と「週目標」を意識しながら、学校生活を送っている。	68%	65%	75%	▼7
23	1日4時間以上の家庭学習を行っている。	53%	56%	53%	

平成27年度後期学校評価(教職員版)

		評価項目	評価は4, 3, 2, 1の4段階で実施しています。		今年度後期	今年度前期	昨年後期	3.3以上	同時期比較
1.学校経営	(1)	学校教育目標	前年度の自校の教育課題や生徒の実態を踏まえた適切な重点目標を設定する。	全	3.4	3.4	3.6	○	▽
	(2)	学校経営方針	各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	個	3.2	3.3	3.4	○	▽
	(3)	学年経営	学年目標の教員・生徒への浸透を図り、その目標達成のための教育活動を展開する。	年	3.4	3.6	3.5	○	▽
	(4)	学級経営	学校目標や学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を行う。	個	3.5	3.6	3.6	○	▽
2.教育活動	(1)	教育課程の編成	教育課程の実施に当たって、教育目標の達成状況を定期的に点検する。	科	3.3	3.3	3.4	○	▽
	(2)	教科指導	基礎・基本の内容を重点化した指導を行い、基礎学力・基礎技術の習得の徹底を図る。	個	3.5	3.2	3.5	○	▽
			学級の状況等、生徒の実態に応じた指導方法や指導形態を試みるなど、授業の創意・工夫に努める。	個	3.5	3.7	3.6	○	▽
			生徒の実態に応じて、教材を精選したり、教育機器等を用いたりして、指導を工夫する。	個	3.3	3.4	3.4	○	▽
			生徒の多面的な能力を知識・理解に偏らず、いろいろな観点から評価する。	個	3.2	3.3	3.3	○	▽
			評価をその後の授業にフィードバックし、指導と評価の一体化を図る。	個	3.1	3.1	3.3		▽
	(3)	総合的な学習	各学年の年間計画に基づき、それぞれのねらいに沿った学習活動を展開する。	年	3.3	3.3	3.3	○	
	(4)	特別活動	年間計画に基づいて、事前準備をよく行い、活発なホームルーム活動を実施する。	個	2.9	3.3	3.2		▽
		生徒指導	生徒の実態に即した見直しを行い、内容を工夫することにより、効果的な学校行事を実施する。	全	3.3	3.3	3.6	○	▽
	(5)		あいさつ・礼儀などについて学校生活・社会生活全般において、常識ある行動をとれるよう教職員で指導を行う。また、定期的にあいさつ運動を実施する。 【道徳①】	全	3.2	3.3	3.2		
		進路指導	基本的な生活習慣の確立に努める。	年	3.3	3.3	3.2	○	+
	(6)		生徒が望ましい勤労観・職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的指導に努める。	全	3.4	3.3	3.3	○	+
		教育相談	進路情報の提供、講演会の実施、個人面談等を適宜行い、進路意識の高揚を図る。	年	3.4	3.6	3.4	○	
	(7)		カウンセリング・マインドを持って生徒に対応するように努める。	個	3.4	3.6	3.4	○	
	(8)	特別支援	校内委員会や特別支援教育コーディネーターの指名を行い、必要に応じて、適切な支援について検討する。	全	3.2	3.6	3.2		
	(9)	生徒会活動	生徒会行事に生徒が主体的に参加できるような工夫と呼びかけを行う。	個	3.1	3.4	3.5		▼
	(10)	読書教育	年間を通して朝の10分間読書を継続して行う。 【道徳②】	全	3.7	3.8	3.6	○	+
		健康・安全教育	図書だよりの発行や図書委員の活用等で読書指導を充実させ、図書館の利用や本の貸し出しの拡大を図る。	全	3.1	3.3	3.3		▽
	(11)		生徒の心身の健康について、分掌会(週1回)で要観察生徒の情報交換を行い、担任・教育相談部・スクールカウンセラーと連携を密にした指導を行う。	全	3.4	3.5	3.3	○	+
			安全確保について生徒や保護者への啓発を促し、組織的に対応できる危機管理体制を整える。	全	3.3	3.3	3.3	○	
			校門指導を年40日間実施し、生徒の交通安全教育の徹底をする。また、必要に応じて全校集会やホームルームで交通安全の指導を行う。 【道徳③】	全	3.1	3.6	3.3		▽
	(12)	人権・同和教育	体系的な人権・同和教育計画に基づき全生徒に指導し、生徒が人権課題を解決しようとする態度を育成する。 【道徳④】	全	3.1	3.2	3.3		▽
	(13)	部活動	部活動によって生徒が達成感を持ち、好ましい人間関係づくりや個性の伸長を図るよう支援する。 【道徳⑤】	全	3.4	3.6	3.4	○	
	(14)	ボランティア活動	年間計画に基づき、年2回以上全校生徒が参加するボランティア活動を実施する。 【道徳⑥】	全	3.3	3.5	3.2	○	+
	(15)	資格取得	ワープロ検定、漢字検定等の合格率を上げ、何らかの資格を持つように指導する。	全	3.5	3.7	3.3	○	+
	(16)	国際文化交流コース	年間5回程度の出張講義や韓国・人との交流会をコース全体で行い、学年を超えた連携を行う。	際	3.8	3.7	4.0	○	▽
	(17)	商業科	日頃の授業の充実を図るとともに、補習を実施するなど、より手厚い指導を行うことで理解を深め、検定合格への意欲を高める。	商	3.6	4.0	3.8	○	▽
	(18)	各学年の指導	挨拶の励行、校則の遵守、掃除の徹底など基本的な生活習慣の確立を図る。 【道徳⑦】	1年	3.1	3.3	3.3		▽
			個人面談・三者面談と、各種調査や進路講演会、総合学習等を効果的に連動させることにより進路意識を高め、進路選択を支援する。	1年	3.3	3.3	3.1	○	+
			教師間で情報を共有して生徒の多面的理解を図り、学年団として指導にあたる。	1年	3.1	3.6	3.3		▽
			行事予定、課題の提出日などを毎日確認させることで、自己管理能力を育成する。 【道徳⑧】	2年	3.2	3.5	3.4		▽
			生徒への指導においては、特に良い点を積極的に評価することで、生徒自身の誇りを寛容する。	2年	3.5	3.9	3.1	○	++
			担任との定期的な面談を通じて、学習と部活動の両立など充実した学校生活を送らせる。	2年	3.4	3.9	3.1	○	++
			定期的かつ計画的な担任会・学年会の実施により、見通しを持った全体指導を行うとともに、生徒情報の共有化を図り、個に応じた指導を実施する。	3年	4.0	4.0	3.0	○	++
			学校行事・学級・学年・部活動など様々な場面において、自主的・意欲的に行動でき、なおかつ全体のことに配慮できる態度を育てる指導を行う 3ヶ月行事予定表を毎月毎に生徒に配布し、長期的展望と計画性のある生活を実行させる。 【道徳⑨】	3年	4.0	3.4	3.0	○	++
				3年	3.3	3.5	2.9	○	++
3.組織運営	(1)	校務分掌	前年度の各分掌の課題を確認し、その課題解決のために業務の改善を図る。	全	3.4	3.6	3.3	○	+
		各種委員会	学校全体の校務が円滑に推進できるよう、分掌や学年相互間の連携を図る。	全	3.4	3.6	3.3	○	+
			各校務分掌の活動について組織的・計画的に評価を行い、資料等の記録・保存にも努める。	全	3.5	3.6	3.3	○	+
	(2)	校内研修	各委員会の設置目的を確認し、必要に応じて新設、統合、廃止等の見直しを行う。	全	3.1	3.2	3.0		+
			各委員会での話し合いの結果を、教育活動や学校経営等に生かす。	全	3.1	3.5	3.1		
	(3)	現職教育	生徒の実態や自校の教育課題をふまえ、全職員による校内研修を年に2回以上行う。	全	3.6	3.6	3.4	○	+
			授業見学等の機会を設け、教育実践の向上を図る。	全	3.1	3.3	3.5		▼
	(4)	情報・ICTの活用	研修内容によっては研修受講者が、その内容を校内の教職員に知らせる機会を設ける。	全	3.0	3.3	3.1		▽
			教育センター等の研修会へ積極的に参加し、教職員の指導力等の向上を図る。	個	2.9	3.1	3.0		▽
4.教育環境	(1)	学校環境の整備	「学校の環境整備に関するアンケート」(年3回)を実施し、生徒・職員の情報環境美化に対する意識向上を図る。 【道徳⑩】	全	3.5	3.6	3.3	○	+
	(2)	施設・設備の管理	施設設備の安全点検や補修を学期に1回以上行い、環境整備を図る。	全	3.5	3.3	3.3	○	+
	(3)	情報・ICTの活用	パソコンによる校務処理を積極的に推進するとともに、データの共有化を図る。	全	3.4	3.3	3.4	○	
5.開かれた学校づくり	(1)	保護者との連携	自主的なPTA活動が活発に展開され、学校もその活動を積極的に支援する。	全	3.2	3.2	3.2		
	(2)	地域や関係機関との連携	学校方針や具体的な教育活動の中身について適切な情報を地域や関係機関に提供するため、学校だより「奏風」を年3回以上発行する。 近隣地域の中学校との情報交換や連携に努めるため、中高連絡協議会や高校説明会を実施する。	全	3.8	3.8	3.5	○	+
				全	3.8	3.8	3.3	○	++